

HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY

JULY 16-31, 2005

健康食品が消費者に支持され、継続利用されるひとつの要因として「体感」が挙げられる。昨今話題となっている CoQ10 は、「翌日の疲れの残り方が違う」と実感できることが人気の理由のひとつと考えられる。また、目に良いと言われるブルーベリー（ビルベリー）も体感できる事が大きな市場を形成した理由のひとつだろう。一方、ダイエット商品は、体重計に乗るだけで効果が明白に分かるシビアな商品である。このように「体感」や「客観的指標」で、健康食品の効果が実感できると、消費者のリピーター購入促進につながる。

最近、個人の栄養や健康状態など、「体感」しづらく、これまで客観的なデータを得にくかった分野で、「測定」と「サプリメント」を組み合わせたサービス＆商品を提供する企業が見られ始めた。大手マルチ・レベル・マーケティング企業であるニュースキンジャパンが昨年より取り入れている「フォトニックスキャナー」では、野菜の摂取状況を測定・提示してサプリメントの販売促進を図っている。その他、問診や毛髪検査で食生活や栄養バランス、重金属の蓄積度を示して個々人に必要なサプリメントを処方するオーダーメイドサプリメントも増えている。クリニックでは、血管年齢を測定して、サプリメントを推奨しているところもある。また、産学連携で研究が進んでいるニュートリゲノミクスの応用も、米国では一部開始されている。

効果が分かりにくい、或いは体感しにくいサプリメントの良さを目に見える形にして分かってもらい、納得してもらう事によりリピートを促進する、という新しいビジネスモデルが今後益々注目されるであろう。また、この分野は知恵を使えばビジネスモデル特許（少々古い言葉になったが）取得による、参入障壁を築く事も可能である。

新規素材の研究開発と共に、「測定」技術の動向にも注視することが、新しいビジネスチャンスをつかむ機会になると思われる。

NEW PRODUCTS

味の素、アミノ酸「グリシン」を活用したおやすみをサポートする食品「グリナ」を通販で新発売

味の素株式会社は、味の素 K K 健康基盤食品事業の第一弾商品として、アミノ酸のひとつであるグリシンを活用した快眠サプリメント「グリナ」を 8 月 10 日より通信販売で新発売する。通信販売業務は、新会社 A - ダイレクト株式会社で行なう。2005 年度の売上目標は約 3 億円。味の素では、中長期経営計画の中で、健康事業を今後の成長の柱の一つに掲げており、2010 年度には連結売上高 1,000 億円規模を目指す。（7 月 21 日味の素プレスリリース）



小林製薬、特定保健用食品の血圧が気になる方のための健康ドリンクを発売



小林製薬株式会社は、特定保健用食品『杜仲源EX』を7月22日から通信販売で発売する。小林製薬では2003年1月から、日立造船バイオ株式会社からの事業譲り受けにより『小林製薬の杜仲茶』シリーズを販売してきた。今回の新製品『杜仲源EX』は、血圧が高めの方のために開発した特定保健用食品の健康飲料であり、『小林製薬の杜仲茶』ブランドの売上げ増加を狙う。(7月22日 小林製薬プレスリリース)

ファンケル、コエンザイムQ10配合の飲む美容液「テンスアップEX」を発売

株式会社ファンケルでは、ファンケルオリジナルのHTCコラーゲンが2,600mg入った"飲む美容液"『テンスアップEX』にコエンザイムQ10を配合して、さらにパワーアップし、8月19日よりファンケル通信販売および直営店舗にてリニューアル新発売する。(7月25日 ファンケルプレスリリース)



ノエビア、眼精疲労に効くアントシアニンが豊富な「ノエビアワイルドビルベリー100」を発売
株式会社ノエビアは、スウェーデンの「ノルボッテン地方」に自生する「ビルベリー」を100%使用し、フリーズドライ加工した『ノエビアワイルドビルベリー100』を2005年8月1日に発売する。眼精疲労に働きかける「アントシアニン」を豊富に含み、子供から大人まで「眼の健康維持」を望む現代人におすすめである。(7月26日 ノエビアプレスリリース)

ニュースキンジャパン、ダイエットサポート「トリムシェイク」を発売

ニュースキンジャパンは、減量時に不足がちな栄養成分を補う大豆・乳タンパク加工食品である粉末飲料「トリムシェイク」を7月21日より発売する。トリムシェイクは、筋力の維持を助けるクレアチン、タンパク質(分離大豆タンパク、乳清タンパク、分離乳タンパク)、食物繊維(水溶性および不溶性)を配合し、減量時に不足しがちな栄養素を補給しながらお腹に満足感を与え、減量を目指す人をサポートするという。味はココア味とバニラ味で構成。(7月28日 訪販ニュース)



TECHNOLOGY UPDATES

タマネギに含まれるケルセチンが骨密度の減少を抑制

フラボノイドの一種でタマネギに多く含まれるケルセチンを、卵巣を摘出した骨粗鬆症モデルマウスに投与したところ、4週間後、骨密度の減少が有意に抑制したことを、徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部の辻光義氏らが、骨代謝学会のポスターセッションで発表した。ケルセチンには、ガンや動脈硬化などの原因である活性酸素を抑える抗酸化作用と、花粉症やアレルギー性皮膚炎に対する抗炎症作用があることが報告されているが、骨量への影響に関してはまだはっきりしていない。ケルセチンには植物エストロゲンとしての作用をもつとの報告があるため、辻氏らは *in vitro* でエストロゲン受容体(ER α , β)に対する活性を調べたが、ケルセチンは活性を示さなかった。イソフラボンとは異なる経路で生体に作用すると結論づけている。(7月28日 日経BPサプリ&機能性食品)

みかんの成分 β-クリプトキサンチンが骨形成を促進

カロテノイドの一種である β-クリプトキサンチンが骨吸収を抑制するとともに、骨形成の促進にはたらくことを、新潟大学農学部農業生産学科の池田紀子氏らが、骨代謝学会のポスターセッションで、「骨粗鬆症モデルラットにおける温州みかん由来 β-クリプトキサンチンの骨密度に及ぼす影響」と題して発表した。(7月28日 日経サブリ&機能性食品)

COMPANY NEWS

関西電力、抗酸化物質でサプリメント事業参入

関西電力は、老化防止などの効果が期待できる抗酸化物質を多く含んだエキスを、海洋性植物プランクトンから抽出することに成功、2006年以降、サプリメント事業に進出する考えを明らかにした。関電は、プランクトンから水素を取り出す研究の一環として、海岸に生息するクロレラに似た緑藻「クラミドモナスW80」について研究した結果、抗酸化物質としての効果が期待できることを2004年1月に発見した。現在、関電グループの環境コンサルティング会社「環境総合テクノス」が緑藻の培養やエキスの抽出を進めている。今後、食品メーカーと提携し、健康食品や化粧品としての製品化を目指す。(7月22日 産経新聞)

国立栄研、大塚製薬、軽度運動時の疲労軽減効果はイオン飲料がBCAA飲料を上回ることを確認

大塚製薬の寄付講座として2004年4月に設立された国立健康・栄養研究所のニュートラシューティカルズ研究部で、ウォーキング運動時の疲労を軽減する効果は、イオン飲料が、分岐鎖アミノ酸(BCAA)含有飲料を上回るという研究結果が得られていたことが明らかになった。(7月25日 日経 FOOD・SCIENCE)

日清ファルマ、長野・上田工場に水溶性CoQ10粉末製造のラインを増設

日清ファルマ株式会社は、上田工場(長野県上田市)に水溶性コエンザイムQ10(以下アクアQ10)の粉末を製造するラインを新設し、本年11月より本格稼働する予定である。今回の水溶性コエンザイムQ10(アクアQ10)のライン新設によって、日清ファルマではCoQ10原体の製造からアクアQ10の一部の製造までを自社内で一貫して行なうことになる。新ラインは、アクアQ10粉末の市場が今後5倍程度になっても供給できる製造能力を持つものになる予定。初年度設備投資金額は3億円である。(7月27日 日清ファルマプレスリリース)

ニュースキンジャパン、フォトニックスキャナーでセミナー

ニュースキンジャパンでは、ニュースキンエンタープライズの「ファーマネックスグローバル研究開発」副社長カーステン R シュミット博士を招聘、昨年12月からトップディストリビューターに貸し出している「バイオフィトニックスキャナー」に関するセミナーを全国主要都市で開催している。バイオフィトニックスキャナーは、低出力のレーザー光を手の皮膚表面に照射することにより栄養状態をチェックできるツール。同スキャナーは米国で2003年2月にフィールド導入、日本では2004年8月に東京、大阪、福岡のウォークインカウンターに導入し、12月からトップディストリビューターを対象にレンタルプログラム(有料)を開始した。日本における現在のレンタル台数は約1000台。同スキャナーでは栄養状態を「食習慣(野菜摂取状況)」、「サプリメントの摂

取状況」、「ライフスタイル(喫煙や肥満度)」の3項目で総合的に判断し、ライフスタイルの改善の目安とする。
(7月28日 訪販ニュース)

カルピス、北米でも「アミールペプチド」供給開始

カルピスは機能性食品の原料供給事業を拡大する。北米の健康食品メーカーに対し血圧調節作用があるとされる粉末状の天然成分「アミールペプチド」の供給を始めた。北米では他の供給先の開拓と自社でも機能性食品の展開を進める構え。日米欧に布石を打ち健康機能性飲料・食品事業を拡大、飲料事業に次ぐ事業の柱に育成する。供給先は米国の健康食品メーカーのジャロウ・フォーミュラス社(カリフォルニア州)。タブレットタイプの「Pressure Optimizer(プレッシャーオプティマイザー)」の商品名で、サプリメントなどを販売する自然健康食品販売店200カ所で取り扱う予定だ。2005年に数千万円、2007年に1億円の販売を狙う。ジャロウ社の製品のパッケージデザインには「アミールペプチド」を使っていることを明記する。カルピスがカリフォルニア州でテスト販売している機能性食品「Ameal S(アミールS)」のパッケージにも同粉末を利用していることを明記して知名度を高める。(7月29日 日経新聞)